教育委員会だより

「自立」と「共生」～自己肯定感～

令和５年２月２２日号　多治見市教育委員会　教育総務課

青少年まちづくり市民大会

２月１１日に、バロー文化ホールにおいて、３年ぶりに「青少年まちづくり市民大会」を開催することができました。大会では、南姫小学校、根本小学校、脇之島小学校の児童が、各まちづくり市民会議の活動を発表しました。いずれの発表も、地域の活動に自信と誇りをもって語る姿が見られ大変素晴らしいと思いました。また、会場準備や司会進行などにおいて、中学生のボランティアが活躍してくれました。さらに、アトラクションとして、北陵中学校吹奏楽クラブの皆さんが素敵な演奏を発表してくれました。参加された方から、「今回の市民大会は、大人ではなく子ども達が前面に出た素晴らしい大会だと思いました。」という声をいただき嬉しく思いました。

第58回「土と版画展」

２月４日（土）から２月６日（月）にかけて、バロー文化ホールにおいて土と版画展を開催することができました。本作品展には、多治見市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校及び、多治見市在住で東濃特別支援学校に通う子ども達の作品が展示されました。実に 3000 人以上のたくさんの方々に来場していただくことができ、「発想がすごいね。」「面白い作品だね。」など、家族で楽しく会話をしながら鑑賞する姿がたくさん見られました。いずれの作品も、力強くて生き生きと表現されており、注目を集めていました。さすが『陶器のまち多治見』だと感じました。

【中学生の土作品】

【小学生の土作品】

さわらび学級で大切にしている体験活動

さわらび学級は、学校を含め社会的自立を支援するために本市が設置している適応指導教室です。通級している児童生徒は、この１年間でずいぶん成長しました。今回は、さわらび学級が進めてきた活動の内2つ紹介します。

一つ目は、野菜の収穫体験です。さわらび学級の敷地に栽培した人参と大根が想像以上に収穫できました。そして、収穫した野菜を材料にして、豚汁の調理実習をしました。仲間と協力して楽しく活動する姿に成長を感じました。

二つ目は、スポーツ大会です。１月27日に笠原体育館において、実施しました。寒さが大変厳しい日ではありましたが、子ども達は自分のペースで縄跳びやボール運動などの活動を楽しみました。どの子も、はっきりと自分のめあてを語ることができ、確かな成長を嬉しく思いました。

令和4年度東濃地区学校図書館教育賞

【校長会での表彰式の様子】

今年度の図書館教育賞の受賞校が決まりました。学校図書館の運営をよりよく推進されたことに敬意を表します。審査の結果、以下の2校が受賞されましたので紹介します。

おめでとうございます。

総合優秀賞　滝呂小学校

優秀賞　昭和小学校

多治見市では、読書指導も大切にして進めています。今年度、表彰を受けた2校におかれましては、コロナ対策や ICT 推進の中でも図書館教育を重点にして、教育活動を取り組んでこられたことに敬意を表します。

来年度以降も多くの学校が応募されることを期待しています。